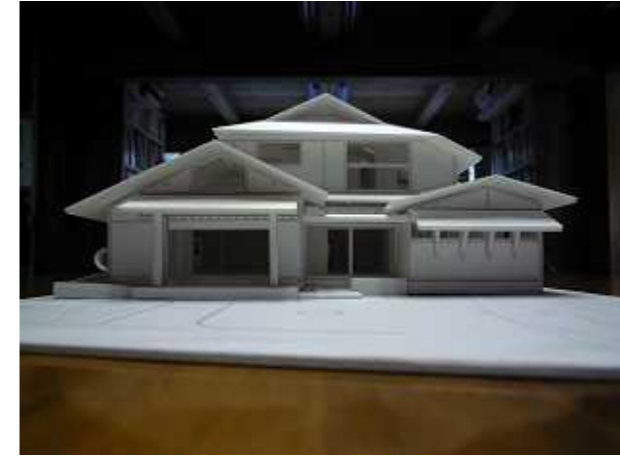


伝統構法でつくる“金光教本郷教会”の見学会

2008年3月8日(土) 13:00~16:00

日本が誇る「木の文化」。それを今に伝えているのが、無垢の木と精巧な大工の技で作られる伝統的な木組みの建築です。
今回の建物は築約80年の教会の老朽化に伴い、伝統を生かした木組みの教会を建てたいという建て主の要望から生まれました。
限界耐力設計で、構造の安全を確認しています。
当日は現場で実際の建て方を見た後、根津交流館に移動しセミナーが行われます。伝統構法にとっての限界耐力設計の必要性を三浦利樹さん(増田建築構造事務所)が、木の建築が環境問題にすぐれていることを吉野勲(創夢舎)がテーマにセミナーを行います。

集合：金光教本郷教会の現場
セミナー会場：根津交流館(東京メトロ千代田線根津駅より2分)
現場・会場とも駐車場がないので、電車かバスでご参加ください。
最寄駅：東京メトロ南北線東大前駅より徒歩約10分
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩約5分
講師：吉野勲(創夢舎・素木の会代表)
三浦利樹(増田建築構造事務所)
参加費：一家族1,000円(セミナー参加者)
定員：20名(先着順)参加者に直接ご連絡いたします。
締め切り：3月5日(水)
お問い合わせ：創夢舎/担当・中屋、千波



完成模型



築約80年の前教会

建て主：金光教本郷教会 設計：創夢舎・吉野 勲 施工：山崎工務店
所在地：文京区
敷地面積：602.12㎡*建築面積：314.67㎡ *延床面積：450.77㎡(136.08坪)
*1階床面積：305.02㎡(92.08坪)*2階床面積：145.75㎡(44.00坪)

秋葉神社参集殿の建て方のお知らせ

伝統構法の建て方

3月中旬から4月上旬建て方予定

見学を希望される方は事務局にご連絡ください

昨年10月に地鎮祭し、着工した秋葉神社参集殿は、棟梁の戸部さん達が腕によりを掛けて刻んだ柱梁を組み上げる時期になりました。

伝統構法による建て方は金物を使わず、仕口・継手によって組み上げられます。全て大工さんが墨付けし、刻んだものです。

先人の知恵が間近で見れる機会なので、是非一度見られてはいかがでしょうか。



完成模型



建設地を南より見る

建て主：秋葉神社 設計：創夢舎・吉野 勲 施工：社寺建築戸部
所在地：さいたま市
敷地面積：7,082.01㎡*建築面積：251.20㎡*延床面積：244.58㎡(73.83坪)
*1階床面積：244.58㎡(73.83坪)

素木の会情報

地球温暖化と木の家

地球温暖化は人間活動によるもので、今後確実に進み実害に直結する」と、政府関係者と世界有数の科学者によるIPCC(気候変動に関する政府間パネル)が07年2月に結論づけた。シナリオの違いによって、1.1~6.4程度の気温上昇の幅はあるが、今世紀中に地球の平均気温が最悪の場合6.4程度上昇するといふものである。平均気温2の上昇で動植物種の2、3割が絶滅すると予測されるなか、変化が顕著になってからの温暖化対策は手遅れとの報告は深刻だ。

地球温暖化の危機を最小限にできるのは、私たちの日々の小さな取り組みからと考える。先に観たゴア副大統領の映画「不都合な真実」でも、「私ができる10のこと」を掲げ、今ならまだ間に合う最後のチャンスと訴える。そこで、現に住む家の省エネは当然だが、家の製造と解体にもなう石油製品や化石燃料の削減を視野に入りたい。「木の家」は、太陽エネルギーで二酸化炭素を固定した木材でつくられ、木は土に戻る持続可能な循環資源で、地球温暖化に貢献大である。(TV飯能寄稿コラムより抜粋)

お問い合わせは素木の会事務局まで

電話/042-973-8788
Fax/042-973-8075
Mail/somusya@hano.jp
ホームページ/「素木の会」創夢舎